

ロヒンギャ難民危機に対する日本の民間支援

2019年1月

unicef 
for every child

日本ユニセフ協会を通じた 日本のみなさまからのロヒンギャ難民支援



バングラデシでユニセフが行うロヒンギャ難民
緊急支援に対し、2017年9月に100万米ドルの資金を受領

2018年2月、**分野横断的な緊急支援**に対し、2,837,000米ドルを受領

さらに、2018年8月、FNSチャリティキャンペーンによる支援として480,000米ドルを**栄養・保健分野**の活動資金として受領

2019年、**分野横断的な緊急支援**に対し、915,875.43米ドルを受領予定



プライマリー ヘルス・ケア

- 医薬品や医療機器・備品を
12カ所の保健ポストと2カ所
のプライマリー・ヘルスセンター
へ提供
- 2017年、24,550人の5
歳未満児が治療・ケアを
受けた
- 2018年、130,214人の
5歳未満児が治療・ケアを
受けた

妊産婦ケア

- 12カ所の保健ポストと2カ所のプライマリー・ヘルスセンターを支援:
- 2017年、9,936人の女性が少なくとも1回の妊産婦健診を受け、1,252人の母親が産後の健診を受けた
- 2018年、37,104人の女性が少なくとも1回の妊産婦健診を受け、1,252人の母親が産後の健診を受けた





経口コレラ ワクチン接種

- 11月17日から12月13日にかけて、経口コレラワクチンキャンペーンを実施:
- 1歳以上の364,686人が接種(目標の111%)

HIVの 母子感染予防



→ コックスバザール地域病院とウ
キヤ郡の保健施設で、
2,021 人の妊婦にHIVカウ
ンセリングと検査を実施



緊急事態への 備え

- チッタゴンの物資倉庫に家庭での必需品である保健物資を備蓄
- テクナフに追加の備蓄スペースを設置し、コックスバザールへのアクセスが絶たれた場合に備えた予備物資を配置

Thank You



for every child

